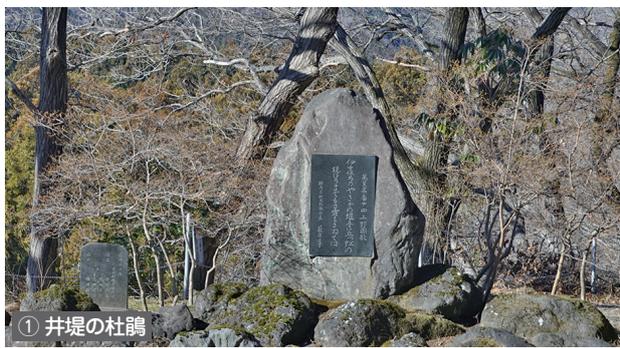


いにしえ
キラリよしおか古語り ⑮



上野田の地には、自然や地形に恵まれた名所が8か所あり、これらを野田八景と名付け、折にふれて歌を詠み楽しんできたといわれています。今回はその中の3か所をご紹介します。

「平石の名月」

上野田宿からずっと上手にある平石のため池。ここからは、上野田の田んぼが一望でき、さえぎるものはない。澄み切った晩秋の宵に、赤城山から上る満月は、水面に影を投げて神々しいまでの美しさ、これぞ平石の名月である。

平石の 夜空に寒き 影落とし
雲のまにまに うつつ月かな 柳子

現在、平石のため池はコンクリートになり家並も増えたが、赤城山と満月の景色は、今も当時と同じ感動を与えてくれる。

「井堤の杜鵑」

滝沢の上流、雑木林の深き中、万葉の古歌に名高い「八坂の井堤」に、夏来て聞く杜鵑の声は、一声千金の値打ちありと、古くから旅人の足を

野田八景への誘い

止めさせるものがあつた。

ほととぎす 井出の林に 鳴く声を
聞かぬ日もなし 山ごとの人 重文

「庚申塚の春雨」

三国街道筋に立つ一里塚と榎。人々はここに幸せを願ひ庚申塔を祭つた。春雨にけがる朝夕の風情は格別である。

はる雨に 煙りて見ゆる 庚申塚
はるけく続く 下野田の桑畑 柳子

この一里塚は起点の高崎から4里。現在の榎は2代目で、樹下の2基の庚申塔は、1714年と1860年の建立である。今は家が立ち並ぶが、下野田と赤城を見渡す雄大な風景は記憶に新しい。

野田八景と言われた当時の風景が思い浮かべられたでしょうか。ぜひ足を運んでみてください。今までとは違った感覚を覚えるかもしれません。

参考文献：吉岡村誌

編集後記

あけましておめでとうございます。本年も「よしおか議会だより」をよろしくお願いします。

昨年に引き続き、分かりやすく、興味を持って読んでもらえるような広報となるよう、努めていこうと思います。お気付きの点などありましたら、お聞かせいただければ幸いです。

さて、その年の世相を1字で表す「今年の漢字」ですが、昨年は「災」でした。本年は転じて「福」の多い年となり、この一年が町民の皆さまにとって良い年となるよう願っています。

(富岡 大志)

編集委員

- 委員長 金谷 康弘
- 副委員長 村越 哲夫
- 委員 高山 武尚
- 竹内 憲明
- 五十嵐 善一
- 大林 裕子
- 富岡 大志